


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



6月の銅の概況及び7月の見通し (3)

	予想レンジ	
LMEセツル	8,000-9,000ドル	●
建値	120万円-135万円	●
為替	140円~145円	円安
(1か月間TTM)		

■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると5月の自動車生産台数は前年比+49%の59万532台。輸出は前年同月比+49.7%の28万614台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると6月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+31.5%の25万9,794台。内訳は乗用車が+33.6%、貨物が+17.7%、バスが+127.5%。

【住宅着工戸数】

5月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比3.5%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比11.8%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は69,561戸。前年同月比3.5%増、4か月ぶりの増加。

○新設住宅着工床面積は5,487千㎡。前年同月比1.4%減、4か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では862千戸。前月比11.8%増、先月の減少から再びの増加。

【伸銅品生産】

5月伸銅品生産量の速報値は4万9,920トン、前年同月比16.8%減少し、17か月連続のマイナスとなった。5万トンを下回ったのは、2020年8月以来である。

14品目中13品目において前年同月実績を下回った。久々に5万トンを下回ったが、5月の連休による稼働日数が少なかったことも一因にあり、稼働日数で割ると前月と同じだった。伸銅品の需要は、半導体関連が車載向け引き続き好調だが、それ以外が低調である。また、民生用や自動車用の端子は在庫消化が進まず、伸銅品の生産につながる新規の需要が生まれていない。

銅条

同比9ヶ月連続マイナス。2020年以來の少ない生産量となった。ただ、1日あたりの生産量としては、4月と変わらず、連休による稼働日数の少ないことも要因となっている。車載向け以外の半導体が低調である。中国向けの民生用コネクタの在庫消化が終了するとの情報もある。

黄銅棒

同比17ヶ月連続マイナス。住宅設備向けは、新規住宅分が伸びない。自動車関連のバルブは中間在庫などがまだ残っており良くない。

【電線】

前年比+4.2%の4万4,700 t。

内訳は国内が+4.3%、輸出が-2.1%。

【輸出】

電気銅は+20.7%の6万905 t。

スクラップは+8%の3万688 t。

【輸入】

電気銅は+48%の1,049 t。

スクラップは-33.7%の9,607 t。

【見通し】

【自動車】

5月の自動車生産が+49%。6月国内販売台数が前年比+31.5%。5か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり、今後に期待。

【伸銅品生産】

5月伸銅品生産量の速報値は4万9,920トン、前年同月比16.8%減少し、17か月連続のマイナスとなった。5万トンを下回ったのは、2020年8月以来である。

14品目中13品目において前年同月実績を下回った。久々に5万トンを下回ったが、5月の連休による稼働日数が少なかったことも一因にあり、稼働日数で割ると前月と同じだった。

伸銅品の需要は、半導体関連が車載向け引き続き好調だが、それ以外が低調である。また、民生用や自動車用の端子は在庫消化が進まず、伸銅品の生産につながる新規の需要が生まれていない。

【電線】

前年比+4.2%の4万4,700 t。

内訳は国内が+4.3%、輸出が-2.1%。

中国スマートフォンやデジタル家電の低調はあるものの自動車生産が堅調に伴い増加、今後に期待。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)6月は銅建値が118万から128万と上昇傾向だった。在庫は伸銅品生産減、発生減から在庫薄。需要面に関しては今月も自動車生産販売の回復から一定の需要は出るがスマホ、エアコン需要の回復が遅れているため需給は低位安定。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米FRB利上げ停止後の金融政策、②中国景気回復の動向。

①に関しては、英国、カナダ、ECBが利上げを継続していること、米経済指標や失業率を見る限り利上げ停止の材料は見当たらない。②に関しては、米中摩擦や中国経済指標の低迷、不動産市況の低迷から早期回復はないとの見解。これらを踏まえた5月の銅価格は8,000-9,000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は140円~145円(TTM)台を予測。銅建値に関しては120万-135万円程度と予測している。

(「6月の銅の概況及び7月の見通し」おわり)